



ワン!モア ヒューストン

Vol.7 我が家に子犬がやってきた!

川原志津香(家庭犬しつけインストラクター)



娘の通うジュニアハイスクールが夏休みに入る直前の5月後半に、“Pup Squad”というヒューストンで犬の保護活動をしているグループから、我が家に1頭の子犬を譲り受けました。この子犬は、母犬と兄弟犬と一緒に「預かりボランティア」(foster = フォスターと呼ばれる)の家で生活をしていましたが、生後8週齢を迎え、新しい家

族を募集していました。

実は、残念なご報告になってしまいますが、日本から昨年1月に一緒に渡米してきた愛犬オズカーが、突然の病気により、2週間の闘病の後、亡くなりました。オズカーは9歳になったばかりで、まだ一緒にいられると思っていたので、正直とてもショックでした。20年ぶりの犬のいない生活は、思っていた以上に味気なく、寂しいものでした。オズカーは「ワン!モア!ヒューストンVol.3犬生いろいろ」でご紹介した通り、日本の犬の保護団体から迎えた犬でした。オズカーが亡くなった後、次に一緒に暮らす犬もやはり何らかの事情で保護された犬にしたいと思い、ヒューストン近郊で飼

い主を募集している犬の情報を見つめることにしました。こうして目に止まったのが、今回の子犬でした。正直なところ、そんなにすぐ次の出会いがあるとは思っていませんでしたが、これもまたご縁と、家族の同意も得て、迎えることになりました。

現在、テキサスでは多くの犬が新しい飼い主を探しています。コロナ禍では、オンライン授業や在宅勤務を余儀なくされ、旅行にも行けない状態になっていたため、日本でもアメリカでも、新しくペットを迎える人が増えました。テキサスでも犬が「飛ぶようにもらわれて」いき、犬の保護施設でも犬不足になった時期があったそうです。ところが、徐々に日常生活が戻ってきて、オフィスに通勤することになったり、転職することになったり、様々な理由で犬と暮らすことが難しくなったり、放棄される犬が増えていきます。新しい家族を探す努力をせずに自宅から遠い場所に犬を放置する無責任な人も後を立たず、野良犬となった犬が子犬を産んでまた増えてしまうという悪循環に陥っています。テキサスの犬の保護団体は、多くの犬の命を救って新しい飼い主を見つけることだけではなく、ペットとして暮らす犬には去勢避妊手術を済ませるよう啓蒙することにも力を注いでいます。ご興味のある方は、お住まいの近くの犬の保護活動について検索してみてください。”Houston”, “animal shelter”, “rescue organization”といったキーワードで調べると、多くの情報が出てきます。

オズカーとのテキサスライフは1年と3ヶ月で終わってしまいましたが、たくさん笑顔と楽しい思い出を残してくれました。今後は新しく迎えた子犬アクアマリン(通称アクア)と共に歩んでいきたいと思ひます。



Houston Walker



■ Sep. 21 - Oct. 1

TUTU @Wortham Center, Houston Ballet

ヒューストンバレエ団、次期公演は遊び心たっぷりの演目「チュチュ」。今年が就任20周年となるスタン・ウェルチ芸術監督による振付は、モダンでありながらクラシックな要素が存分に盛り込まれ、クミトをイメージした華やかな衣装も楽しみ。同時に振付家アナベル・ロペス・オチャオによるワールドプレミア、そしてアメリカ星条旗をテーマとした舞台も披露されます。

■ Sep. 23 & 24

Bevonce's RENAISSANCE WORLD TOUR @NRG Park

昨年、アルバム「ルネサンス」でグラミー賞を受賞し、女性最多受賞記録を更新したビヨンセ。ヒューストン出身の彼女にとってホームカミングとなる今回のワールドツアーコンサートは、一味違った盛り上がりになりそう。

■ Sep. 29 & 30, Oct. 1

OPENING WEEKEND: RAVEL'S DAPHNIS AND CHLOE @Jones Hall, Houston Symphony

ヒューストン交響楽団によるシーズン・オープニングコンサートは、フランス作曲家ラヴェルによるクラシック「ダフニスとクロエ」。

■ Sep. 30

Flutter: The Monarch Butterfly Project @Houston Botanical Garden

テキサスには渡り鳥ならぬ「渡り蝶」がいるのをご存じですか? ヒューストンボタニックガーデンでは、渡り蝶「オオカバマダラ(Monarch Butterfly)」をテーマにした屋外アートと現代的なダンスの共演が行われます。自然にふれあいながら学べるファミリーフレンドリーなイベントで、フードテントもあり。通常入園料15ドルで楽しめます。

■ Oct. 5

Houston Oktoberfest @ Klaus Brewing Co

各地で行われるドイツの祭りオクトーバーフェスト。ドイツ商工会おすすめのブルワリーで開かれるこのイベントは、各種ドイツビールや、プレッツェル、ビールジョッキ持ちコンテストや音楽の生演奏で本場の雰囲気を楽しむことができます。チケットは非会員85ドル、飲食代が含まれています。

■ Oct. 7- Nov. 26(毎週末)

Renaissance Festival @Todd Mission

ご存知ルネサンスフェスティバル、ヨーロッパ中世の雰囲気を楽しめる不思議なお祭り。中世の舞台で行われるショーやダンス、手作り感のある木製ブランコやポニーのメリーゴーラウンド、馬に乗った騎士の槍対決も見ものです。海賊やハロウィーン、ケルトのクリスマスなど、週末ごとにテーマが変わります。チケットのご購入は当日券より事前にオンラインで入手されるほうがお得です。

■ Oct. 13 & 14

King's Oktoberfest @Heights

こちらのオクトーバーフェストは各種ドイツビールや、ソーセージやザワークラウトの販売、ビール樽の鏡開き「Keg Tapping」、音楽の生演奏、樽転がしレース「Strongman Competition」など。チケットは59ドル。

■ Oct. 14 & 15

CAF Wings Over Houston Airshow @ELLINGTON AIRPORT

毎年秋のヒューストン・エアショー。空軍のサンダーボルトによる迫力のパフォーマンス、そして実際に動く零戦が真珠湾攻撃を再現します。日本人としては複雑な気持ちになりそうですが、貴重な体験になることでしょう。当日券は50ドル、前売り券は40ドルです。

内容は記事執筆時点の情報に基づいています。変更になる場合もありますので、お出かけ前に各自で最新の情報を主催者サイト等でご確認ください。

編集後記

先日、「サードプレイス」に関する興味深い調査結果を目にしました。サードプレイス(第三の場所)とは、自宅(第一の場所)や職場・学校(第二の場所)とは別の、居心地の良い居場所とされています。アメリカの都市社会学者レイ・オルデンバーグ氏が1989年に提唱したもので、氏は独自のサードプレイスを持つことが、人生のあらゆる方面に良い効果をもたらすとしています。

冒頭で触れた調査は、サードプレイスの保有数と幸福度には正の相関関係がある、と結論付けられていました。つまり、家庭と職場・学校以外の居場所を多く持つ人ほど、幸福感を抱いている傾向にあるという事です。

我が家は一年ほど前に夫の駐在に同行する形で渡米してまいりました。この一年を振り返り、異国の地で概ね楽しく暮らしているのは、様々な人々との関わりがあったからこそと言えます。そうした関わりはまさにサードプレイスと言えるもので、つながりを通じた安心感や、日常を少し離れた刺激、何より自分にもできる事があるのだという実感を思い起こさせてくれる大事な居場所となりました。

この秋、新たにヒューストンへいらした方も多と思います。サードプレイスはコミュニティだけでなく、カフェなどの場所でも良いとされています。差し出がましきではありますが、特に同行されたご家族の方へは是非、ご自身の「得意」や「好き」を通じ、居心地の良いサードプレイスをお探しになる事をお勧めいたします。(編集委員 井上彩乃)

ガルフストリームは毎月15日発行です。

編集委員および投稿募集中!

問い合わせ先: sansuikai@jbahouston.org

ガルフストリームは、ホームページでも閲覧可能です。

https://www.jbahouston.org/gulfstream.com/

発行: ヒューストン日本商工会

発行責任者: 早坂晃

編集委員長: 稲田徳弘

構成・編集: ガルフストリーム編集委員一同